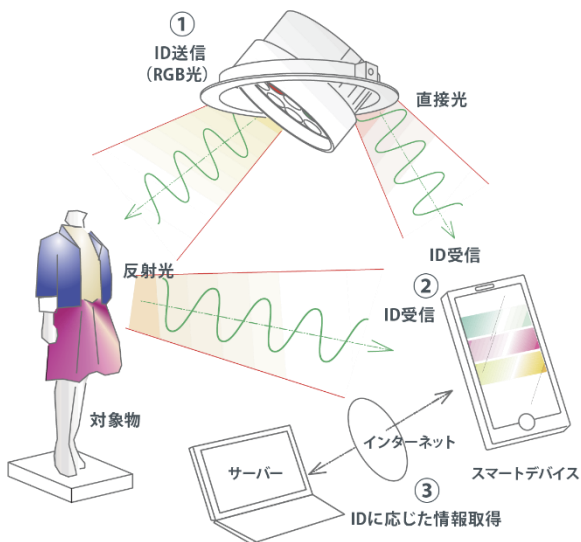


可視光通信 FlowSign Light



1

ID情報を埋め込んだ光を照射

2

モノが光を反射※

※間接光ではなく、直接光でも可能

3

カメラで撮影すると情報取得

操作方法

1

ID情報を埋め込んだ光を照射

ID情報を埋め込んだ光をLED照明からモノに照射

情報の流れ

IDを埋め込んだ光をモノに照射、
スマートデバイスで撮影し、IDを検出

2

モノが光を反射

光を照射されたモノをカメラで撮影するだけで、
あらかじめ設定されたモノに紐付いた情報を取得

情報の流れ

検出したIDでクラウドに問い合わせ、IDに応じた
情報を入手・表示

3

カメラで撮影すると情報取得

サービスの利用者は例えばスマホを利用する場合には、
既存のスマホに専用アプリをインストールして対象物に
かざすだけで情報取得可能

情報の流れ

スマホ画面(目の前の風景や対象物)からIDを検出し、
インターネットに直接接続して情報を引き出す。

使用用途

情報拡張<情報の見える化>



在庫情報



停車詳細情報

多言語翻訳



翻訳機能

ナビゲーション

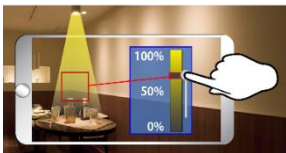


店舗フロアガイド



ショッピングモール来店客誘導

その他



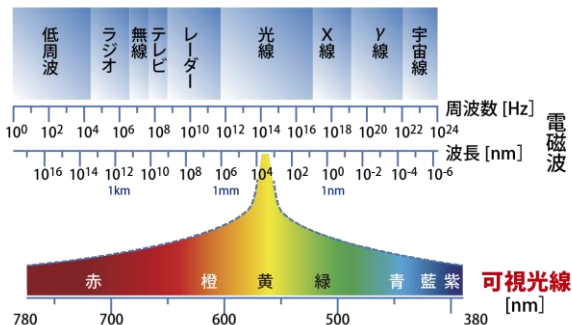
照明制御連動個別調光



屋内位置情報検知

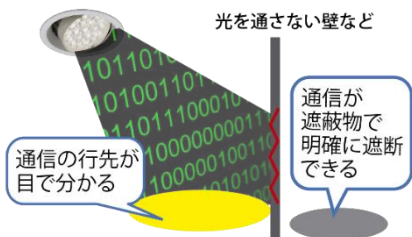
【補足】可視光通信とは

人体や電子機器にも影響しないため、目に見える光『可視光線』を活用。



●伝達の仕組み

情報をデジタル化し、人の目では感じられないほどの光の強弱または高速点滅に乗せて伝達。



光にデータを乗せるという点で、
太古からある狼煙も可視光通信の
一種(煙⇒目に見える⇒可視光)



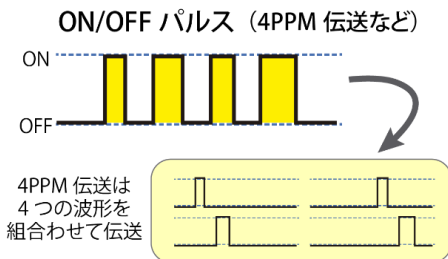
【補足】可視光通信方式の種類

高速通信

方式概要



通信方式



用途

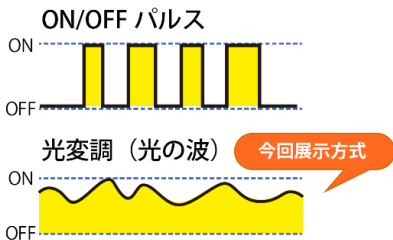
- 動画などの大容量通信
- テレビ情報伝達
- Wi-Fi補完

低速通信(弊社ショールーム展示方式)

方式概要



通信方式



用途

- 照明光/被照射物への情報付与
(情報端末をかざした先の情報入手)
- 位置情報検知
(照明器具の位置を元に屋内GPS)